



第721号



岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会
 住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号
 電話／019(654)4411
 FAX／019(654)4420
 URL／<https://iwatemoriren.org>

岩手県森連第一〇六回通常総会開催

木材取扱数量は四六万五千³m³となる

岩手県森連の第一〇六回通常総会が、二月十七日午後一時四十五分から、盛岡市中央通の県森林組合会館で開催され、令和四年度事業成績、令和五年度事業計画など全十二議案を原案通り承認、決定した。令和四年度の当期剰余金額は六六六七万円と、計画比二〇三%の実績計上となった。

開会に当たり中崎和久代表理事会長は、「森林・林業を取り巻く状況をみれば、コロナ禍、ウッドショック、ロシアのウクライナ侵攻により世界的に経済は低迷しているが、一方では国が進めている国産材利用の方向が各地方自治体にまで広がりを見せており、森林・



中崎和久代表理事会長の挨拶

林業関係者にとっては追い風と向かい風が一緒に来たような状況で、こころの切り抜けるかが最大の懸案事項となっている。東日本大震災から十二年が経過しようとしているが、その間も大きな自然災害は常態化しており、改めて森林の持つ多面的機能の発揮をご理解いただき、しっかりと森林を守ろうという機運が広がっている。森林組合系統は森林を管理しながら守るという責務をしっかりと果たさなければならぬ。会員の皆さんと連携しながら、これからの森林・林業の在り方を見据え、一致団結して力強く進んで参りたい。豊かな岩手の森林を未来に向けて発信できるような取組を進めるために、一層のご尽力、ご理解を賜りたい」とあいさつした。

このあと系統利用優秀組合、森林組合功労者の表彰に続き、来賓の藤代克彦岩手県農林水産部長（橋本卓博技監兼林務担当技監兼全国植樹祭推進室長代読）、宮澤俊輔東北森林管理局長が祝辞を述べた。

令和四年度の主な事業をみると、指導部門では、系統運動「JForest岩手県ビジョン2030」の方針決定に向け、

森林組合長会議での検討を経て、理事会にて機関決定、会員や関係者への方針周知に努めたほか、「森林組合インボイス制度説明会」を開催し、組合職員の資質向上に向けた指導を行った。また、森林組合の会計処理効率化に向け、組合職員への個別指導や、専用ソフトの開発・運用に関する専門業者との打ち合わせ等を実施した。

木材販売事業では、共販は数量では一七万二四八五³m³（計画比一〇九%）と計画を上回り、更に上半期の単価の高値により、取扱高は二九億二二九六万円（計画比一三七%）と計画を大きく上回る実績となった。直販の受託事業は、北上プライウッド等合板工場が下半期には減産体制となったものの、上半期の集成材工場等への供給等もあり、一九万二五七六³m³（計画比九九%）、取扱高二六億五三七万円（計画比一三二%）と数量はほぼ計画を達成することができた。買取販売は、国有林のシテム販売は増加したが、三陸バイオマスや合板工場への集荷が大きく減少したことから取扱量は八万六四一七³m³（計画比九一%）と減少したが単価高騰により、取扱高は九億二五七九万円（計画比一一二%）と計画を上回ることができた。林産事業は新規で二二ha契約したほか、昨年までの契約地を森林組合等の協力により一万四六〇七³m³（計画比八一%）生産販売し、安定供

給を後押しすることができたことなどから、木材販売事業全体の取扱量は四六万五〇八五m³(計画比一〇〇%)、取扱高六六億一七二万円(計画比一三〇%)の実績となった。

木とくらしの相談所事業では、県内外の工務店、設計士事務所にに対し県産木材を中心とした建築資材の積極的な営業を行うとともに、森林組合と連携し公共施設への地域材の利用を推進したことから収益で計画対比一〇七%の実績となった。

森林整備部門では、地域の森林組合と連携し、いわて環境の森整備事業等に取組み、森林整備二九・九五ha、五四五九万円の実績となった。利用事業では、立木調査、除草業務、病害虫防除事業等に積極的に取組み、金額で一五五万円の実績となった。購買事業

は、令和三年の造林面積が、令和二年の実績より一〇m²増加していることから、一年生の苗木をシカ・ウサギの食害から守るための忌避剤を積極的に販売した。

乾しいたげ販売事業では、取扱量が二万四二四〇kg(前年比八四%)、取扱高は八一五四万円(前年比九五%)の実績となった。販売単価としては、kg当たり三三六四円(前年比一一四%)、震災前の平成二十二年度対比では、七三%の実績となった。

これらの結果により、事業総利益は三億七五八万円となり、令和四年度の当期剰余金額は六六六七万円と、計画比二〇三%の実績となった。

中崎和久会長が再任される

同総会の議案第十二号で提案された

役員の新任については、総会で承認された後の理事会及び監事会で次の通り決定された。

代表理事会長 中崎和久(葛巻町森林組合)

代表理事専務 澤口良喜(員外)

理事 小原剛一郎

理事 (奥州地方森林組合)

理事 巖岩正治(宮古地方森林組合)

理事 鷹木嘉孝(盛岡広域森林組合)

理事 金 信昭(気仙地方森林組合)

理事 八重櫻友夫

理事 (久慈地方森林組合)

理事 佐藤順一(花巻市森林組合)

代表監事

三浦啓一(北上市森林組合)

監事 坂本 悟(二戸地方森林組合)

監事 畠山直人(岩泉町森林組合)

努力組合 二戸地方森林組合
花巻市森林組合

努力組合 宮古地方森林組合

努力組合 遠野地方森林組合

努力組合 気仙地方森林組合

努力組合 盛岡広域森林組合
久慈地方森林組合

努力組合 奥 義春氏

努力組合 (前二戸地方森林組合業務部長)
下川原勝彦氏

努力組合 (前久慈地方森林組合業務部長)
水野 巧氏

努力組合 (前気仙地方森林組合技師)

令和四年度表彰結果

◇系統利用優秀組合

(一) 木材流通センター販売部門

◎優秀組合 浄安森林組合

一関地方森林組合

◎努力組合 久慈地方森林組合

遠野地方森林組合

(二) 一般販売部門

◎優秀組合 釜石地方森林組合

盛岡広域森林組合

(三) 購買部門

◎優秀組合 遠野地方森林組合

気仙地方森林組合

◎努力組合 盛岡広域森林組合

久慈地方森林組合

(四) 特産部門

◎優秀組合 久慈地方森林組合

◎努力組合 野田村森林組合

(五) 森林保険部門

◎優秀組合 盛岡広域森林組合

火の確認 山を愛する あなたのマナー

(令和5年度全国山火事予防運動統一標語)

- ・強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れをしないこと
- ・燃え広がりやすい枯れ草等のある場所では、たき火、野焼きをしないこと
- ・たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火すること
- ・火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず得ること
- ・たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出ること
- ・たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをすること
(森林の周囲1kmの範囲内での「寄せ焼き」や「筋焼き」による野焼きは、火入れとみなされること)
- ・たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てないこと
- ・火遊びはしないこと

岩手県森林組合連合会 2月上旬市況

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(㎡当たり)

樹種	長級 (m)	径級 (cm)	標準価格 (1㎡当たり)	今後の動向
スギ	4.00	10~16	9,500	→
	3.65	18~28	12,000	→
	3.65	30上	11,500	→
	3.65	40上	11,500	→
	3.00	16~26	13,000	→
	2.00	18上	9,500	→
アカマツ	4.00	18~22	11,000	→
	4.00	24~28	11,500	→
	4.00	30上	12,000	→
	4.00	40上	12,500	→
	3.00	18~28	11,000	→
	3.00	30上	11,500	→
	2.20	40上	12,000	→
	2.00	18上	11,000	→
カラマツ	4.00	14下	11,500	→
	4.00	16~28	20,000	→
	4.00	30上	20,000	→

農林水産大臣賞は高橋法子氏(遠野地方森林組合)

第四十六回 岩手県民有林良質材コンクール

令和四年度農林水産祭参加行事第四十六回岩手県民有林良質材コンクール表彰が、二月十七日二午後一時から、岩手県森林組合会館で開催された。今年度は十森林組合から一〇四点の出品があり、審査の結果、次のとおり決定された。

(一) 最優秀賞(農林水産大臣賞、主催者賞)

高橋法子 (遠野地方森林組合)



農林水産大臣賞を受賞した出品材

(二) 最優秀賞(林野庁長官賞、主催者賞)

袖平光男 (久慈地方森林組合)

吉田通彦 (陸前高田市森林組合)

佐々木菊男(宮古地方森林組合)

前名孝吉 (一関地方森林組合)

(三) 優秀賞(岩手県知事賞、主催者賞)

小野寺秀知(二戸地方森林組合)

浅井てるよ(一関地方森林組合)

松田庄一 (陸前高田市森林組合)

内館モヨ (宮古地方森林組合)

金野紘樹 (一関地方森林組合)

(四) 優秀賞(東北森林管理局賞、主催者賞)

小野寺啓次(一関地方森林組合)

菅野祥一郎(陸前高田市森林組合)

菅野周一 (一関地方森林組合)

田口耕助 (浄安森林組合)

畑田光男 (久慈地方森林組合)

(五) 優良賞(岩手県木材産業協同組合理事長賞、主催者賞)

鹿志村忠男(二戸地方森林組合)

千代川善春(宮古地方森林組合)

菊池松一 (遠野地方森林組合)

伊藤文二 (陸前高田市森林組合)

大粒来仁孝(久慈地方森林組合)

(六) 奨励賞(岩手県林業改良普及協会長賞、主催者賞)

米田榮行 (野田村森林組合)

三田林太郎(盛岡広域森林組合)

平中敏広 (二戸地方森林組合)

佐々木明富(久慈地方森林組合)

高橋 諭 (花巻市森林組合)

お知らせ

岩手県森林連では二月二日のコンプライアンス委員会にて『令和五年度コンプライアンス・プログラム』を策定、本会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

(トップページの一番右上『コンプライアンス』をクリックするとPDFが閲覧できます)

全体的に荷動き悪く

県内センターの取扱量は累計で前年度比89.4%。単月では約1,100m³の販売減。

県内合板工場では、受け入れ制限が続いている。

スギは中目材の売れ行きは順調。細材、大径材は保合。役物用は変わらず需要がある。

カラマツは、中目材の引き合いが弱い状況。小径木の売れ行きは順調。特に6~12cmに引き合いがある。価格は保合。13~14cmは保合。

ヒノキは、需要があるものの入荷は少ない状況。良材は高値。

盛岡センターでは、広葉樹の入荷が多い。特にナラの引き合い強く、価格が上昇。広葉樹全体では、例年と比べ高値。より一層引き合いが増している。

＜上段…特選材 下段…一般材＞ (m³当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級(m)	径級(cm)	1月19日	1月11日	1月30日	1月20日	1月6日	1月5日	1月18日	1月25日	開催せず	1月27日
スギ	2.00	18cm上	-	-	9,800	9,000	-	8,762	8,150	8,050	-	9,300
	3.00	16~26	12,380	12,600	13,720	-	-	11,100	-	10,000	-	13,800
	3.65	18~28	-	-	12,000	-	-	-	11,800	11,600	-	12,500
	3.65 4.00	30cm上	60,500 13,220	12,680 11,000	13,520	23,410 13,500	13,000	19,300 10,870	23,800 11,525	18,999 11,180	-	13,280
	4.00	10~16	9,000	7,000	11,000	-	10,130	9,320	8,800	-	-	10,550
落札数量	4,091 m ³		491	244	651	424	177	156	498	928	0	523
アカマツ	2.20	36cm上	78,200 11,000	-	-	-	-	8,160	12,000 9,000	-	-	-
	3.00	14~28	-	-	-	-	-	-	10,000	-	-	10,000
	4.00	18~28	12,000	8,620	-	-	11,500	-	11,050	9,010	-	11,600
	4.00	30cm上	139,990 11,700	20,000 8,620	10,000	12,680	11,500	12,000	12,000	20,660 12,200	-	-
落札数量	991 m ³		295	7	7	4	28	62	271	296	0	21
カラマツ	4.00	7~13	12,000	-	12,000	-	-	9,000	11,000	-	-	12,500
	4.00	14~28	20,000	16,210	22,700	20,000	-	-	20,010	21,500	-	-
落札数量	998 m ³		86	19	685	5	0	54	87	42	0	21
出荷数量	10,323 m ³		3,550	803	999	275	264	746	1,202	1,623	-	862
落札数量	7,797 m ³		2,716	360	922	143	207	358	1,189	1,338	-	564
平均落札率	76%		77%	45%	92%	52%	79%	48%	99%	82%	-	65%
延べ参加者	289名		105	29	24	15	7	25	45	20	0	19

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外も含まれます。

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ	
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	18上	14~18	18~28	30上	10~16	36上	14~28	18~28	30上	7~13	14~28
強気配											
保合い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弱気配											

造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること